

# むらたがわ

発行(年2回)市津地区社会福祉協議会

編集:広報部会 事務局:市原市下野400-1  
問い合わせ先:0436-37-1235

『支え合い・助け合い・安心して暮らせる地域づくりを目指して』



市津地区社会福祉協議会  
会長 泉 敬太郎

市津地区の皆様、こんにちは。日頃より福祉事業に暖かいご支援とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。おかげ様で日常生活支援事業の「市津まごの手」を開始してから三年目を迎えますが、多数の支援者さんにご協力をいただき、利用会員からの依頼に対する支援活動も増加しております。

このほか実施している事業として、買い物ツアー・いきいきサロン・ひよこクラブも好評でしたが、昨今の新型コロナウイルスの影響を受け、各事業が休止や中止となり、大変残念に思っておりました。しかし、五月から徐々に再開しましたので、ご利用いただきたいと思っております。

さて、市津地区は、高齢化率が三八%と高い地域であり、これから超高齢化社会を迎えることは確実です。このような時代でも安心して暮らせる地域として、互いに支え合えることが安心につながります。市津地区社協では、これからも、安心して暮らせる地域づくりを目指して参りますので、変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

『誰もが自分らしく輝ける社会を目指して』

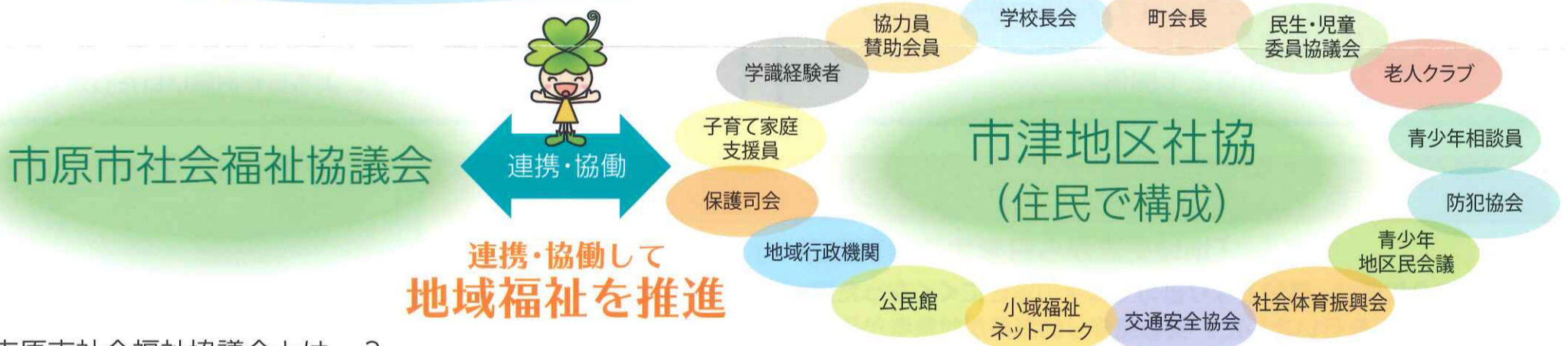


市津地区町会長会  
会長 山本 良一

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き不安な日々を過ごされていることと思います。どうかワクチン接種が終わるまでは、心身の健康確保に努めて頂きたいと思っております。

さて、市津地区町会長会は、地区内三十八町会をもって組織する会です。本会の役割といたしましては、「地域の良質な生活環境を築き、地域の課題解決に力を合わせて取り組むこと」が大切であると思っております。日頃から本会の運営に多大なご尽力を頂いておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。簡単ではございますが本会の紹介とさせていただきます。

## 市津地区社会福祉協議会について



市原市社会福祉協議会とは…?

地域の社会福祉活動を推進することを目的とした民間の非営利団体です。社会福祉法に基づき、全国、都道府県、市町村単位で設置されています。

市津地区社会福祉協議会とは…?

地域福祉推進のための住民による自主組織です。地域福祉に賛同する団体や個人(自治会長、民生・児童委員、老人会等、各種団体やボランティア)が主体となっています。住民一人ひとりの福祉課題、生活課題を地域の課題として受けとめ、住民の助け合いによって「だれもが安心して暮らすことのできる住みよい地域づくり」を目的としています。

## 町会紹介

今回は「押沼町会」と「潤井戸みどり台町会」のご紹介です。

### 押沼町会

町会長 橋田 啓治

#### 「四季の変化にあふれる押沼町会」

ちはら台から村田川を挟んだ向こう側、緑の木々に覆われた僅か28戸の小さな集落です。春には色とりどりの花が咲き、夏は川からの風に涼を取り、秋も冬もと四季の変化を五感に感じずにはられない自然あふれた土地柄です。

町会の高台に位置する押沼白山神社には、ヤマトタケルノミコトが祭られているとされ、小さいながらも地域に愛された場所となっております。この静かな参道で四季の風に吹かれると、なんだかとても穏やかな気持ちになれるのです。



### 潤井戸みどり台町会

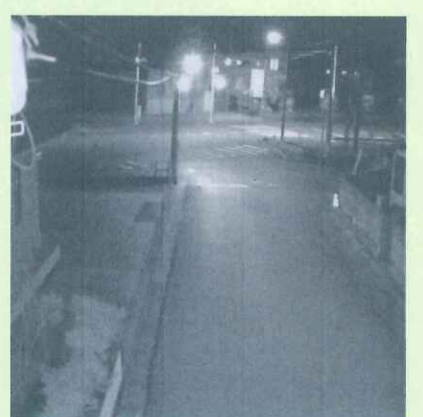
町会長 高橋 成直

#### 「防犯カメラが付きました」

みどり台は、昔から泥棒被害が多い所です。防犯コンサルタントから「幹線道路に接して(入り易く逃げ易い)犯罪者にとってねらい目の地域」と言われたほどです。

そこにコロナ禍による治安の悪化が懸念されたため、高額でも実効性のある対策として防犯カメラ計画が提案され、賛否を問う住民投票には、90%もの賛成票が集まりました。

そして今年2月に完成しましたが、決して油断せず戸締りは勿論自衛の行動が不可欠、と住民一同肝に銘じています。



# 地域関連団体の活動紹介

## 市原市青少年相談員市津支部

副支部長 中村 正利

青少年相談員は次代を担う青少年が、健康で明るく健やかに成長するよう、独自の活動や地域のスポーツ大会、文化活動のお手伝いをしている団体です。

市津地区では県知事、市長から委嘱を受けた9名が活動しています。独自の活動としては、小学校でのあいさつ運動、夏休みミニバスケットボール大会を開催しています。

また、市内の青少年相談員と合同で、スポーツ大会やレクリエーション活動、社会科見学等を行っています。

## 民生委員児童委員協議会

市津地区会長 片岡 仁

民生委員・児童委員は、担当する地区に暮らす身近な相談相手として、地域住民からの生活上の心配事や困り事の相談に応じ、必要な支援への「繋ぎ役」になっています。

また、高齢者や障がい者世帯、子供たちの見守りも行っています。

本協議会では、「テーマ学習」や「ケーススタディ」を通じて構成員のスキルアップに努めています。

現在はコロナ禍で、十分な活動はできませんが、社会福祉協議会や地域包括支援センターなどと緊密に連携して、皆様のお役に立てるよう活動してまいります。

## 市原市子育て家庭支援員協議会

市津支部長 根津 順子

子育て家庭と地域・行政をつなぐパイプ役として、市から委嘱を受け、地域に根差した子育て支援活動を行うボランティア団体です。現在、市津地区では9名が活動しています。

### 活動内容

- 乳児家庭全戸訪問事業  
概ね4ヶ月になるお子様のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報を提供
- こどもフェスタ  
1日限りの手作り遊園地  
(令和2年6月5日 YOUホールにて開催)
- 各種子育て支援事業  
市津公民館などで開催

## 青少年育成市津地区民会議

会長 深山 均

### 「地域の子供は地域で守る」 「さあ、一緒にできることから始めよう」

日ごろ市津地区の皆さんには、青少年の健全育成にご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

青少年育成市津地区民会議では、青少年の健やかな成長を願って、さまざまな活動をしています。

主だったところでは、「こども110番の家事業」「夏休み課題お助け講座」「あいさつ運動」です。とりわけ、「こども110番の家事業」では、小学校と連携をはかり子供の安心・安全のための環境作りを推進しています。

コロナ禍で思うようには活動が出来ませんが、地域の皆さんの協力を頂き進めていく所存です。よろしくお願いたします。

## 市東第一小学校区小域福祉ネットワーク

会長 大塩 順子

### 「地域交流から日常生活個別支援へ」

令和2年度は、高齢となり自力では手の届きにくくなった庭木の整理や清掃、草取りなどの「個別支援」を行いました。安心見守り訪問員が対象者から具体的希望を聞きとり、協力員と共に4~5人でチームを組んで支援を実施する形です。初めての試みでしたが、「気になっていた外回りがすっきり綺麗になった」と非常に喜んでいただけました。



見守り対象者宅での支援作業の様子

## 市東第二小区小域福祉ネットワーク

会長 石田 陽司

市東第二小区小域福祉ネットワークは、発足して9年目を迎えました。昨年は、新型コロナウイルスにより満足のいく活動はできませんでしたが、今年度も3部会を中心に事業活動を計画いたしました。希望される高齢者世帯等に対する声掛け訪問、平成29年で閉校になった旧市東第二小学校の環境整備、そして子供たちとの触れ合いを大事にして寄り添って行きます。活動にあたり地域の皆様、諸団体の関係者の方々には今後ともご協力をお願い致します。



小学校1・2年生の「昔遊び」授業の様子

## 湿津小学校小域福祉ネットワーク

会長 近藤 敏子

私達が経験したことのないコロナ禍の中で、今年度も5月17日(月)役員と児童の限られた人数で「世代間交流事業」を実施しました。喜多地先の畑に2年生(78名)と小域福祉ネットワークの推進委員が共同でさつま芋の苗400本の「作付け」から「収穫」を体験するものです。11月には「芋ほり」を予定しています。今後は新型コロナウイルスのワクチン接種が拡大され、多くの推進委員の皆様方と共に、地域福祉活動を展開できることを願っております。



さつま芋も作付けの様子

## 市津地区社協からのお知らせ

コロナ禍のため、昨年に引き続き「賛助会員募集」は中止と致します。